

【GIGA×指導の工夫・改善】 空き教室を活用した学習環境作り

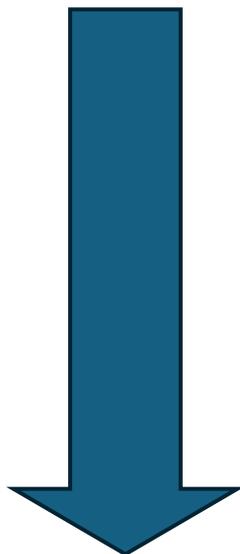
<考察>

GIGA端末を使うことで、新たな課題も発生している。具体的には以下のようなものである。

- ・動画を撮りたいが他の児童の音声が入ってしまう。
- ・自由進度での学習中、個人作業に集中して取り組みたいが、他の班の話し合いが耳に入り集中できない。
- ・様々な調べ方を行いたい、教室にはものが入りきらない。

こうした課題に対し、学年室として利用している空き教室を活用することで解決を図った。

4年生理科「わたしたちの体と運動」では、2教室を利用し、児童が実験や調べ学習など、自身で選択し、課題解決に取り組んだ。学習の導入時と終末時に一斉指導を行うことで、課題の共通把握とまとめの共通理解を図ることができた。



導入：一斉指導による課題の把握

展開：個別学習（2教室展開）

動画×グループ



動画×個人



動画×教科書



実験器具



終末：一斉指導によるまとめ

【GIGA×指導の工夫・改善】 空き教室を活用した学習環境作り

<考察>

1年生国語科で行った本の紹介では、紹介の様子を動画に撮るといった活動に取り組んだ。

3教室を利用し、学習段階に応じて作業する教室を分けて授業を行った。

1教室：練習と撮影した動画の確認

2教室：撮影の練習

3教室：本番

特に本番の撮影場所を分けることで、他の人の音が入ってしまうという問題点は十分にクリアすることができた。

また、どの教室でどの学習活動をしているか、学習進度の把握が容易な一方、複数の教室を利用して授業を行うことで、教師の目が行き届かないという新たな問題も生じた。

複数の教室を利用することは便利だが、課題も残る。学習規律が整っており、主体的に学習に取り組んでいることが前提になってしまいが、今後も環境を有効活用していきたい。



1 教室目：発表練習・動画の確認



2 教室目：撮影の練習



3 教室目：撮影本番